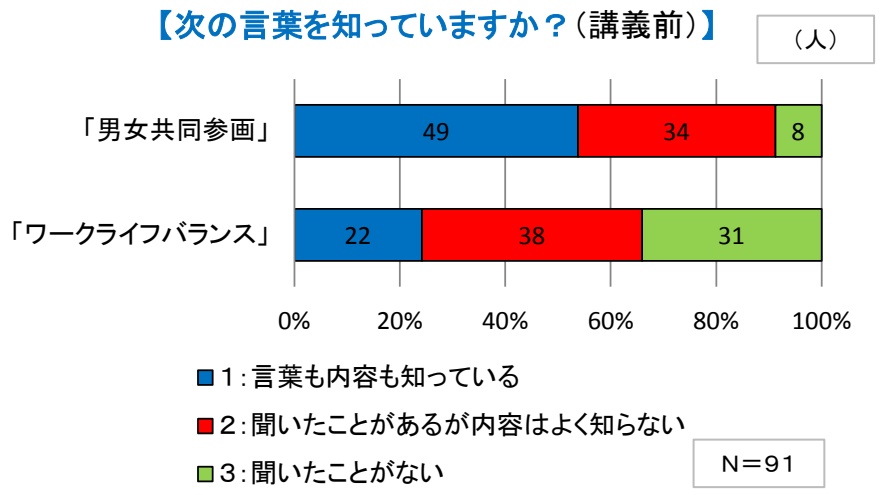
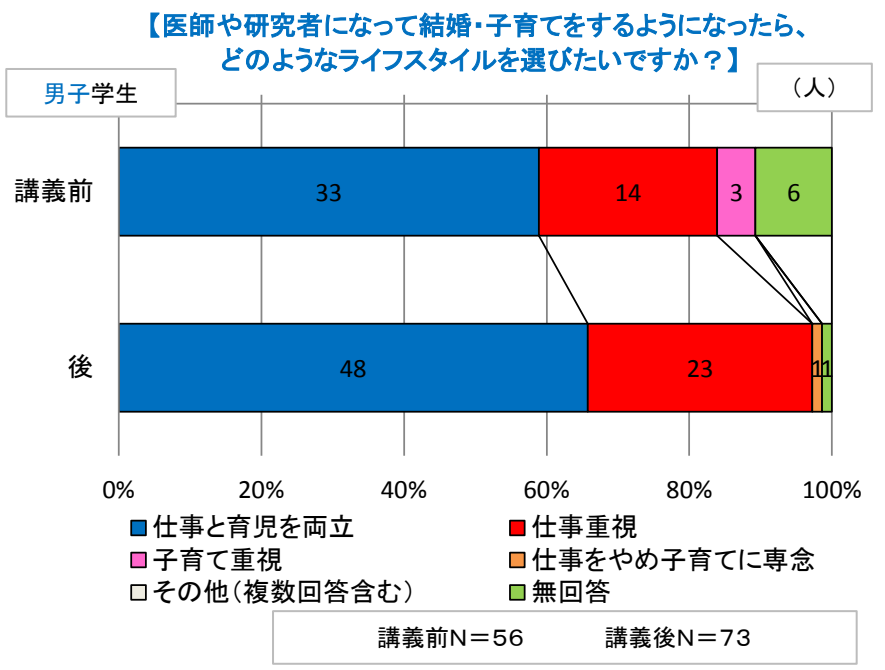
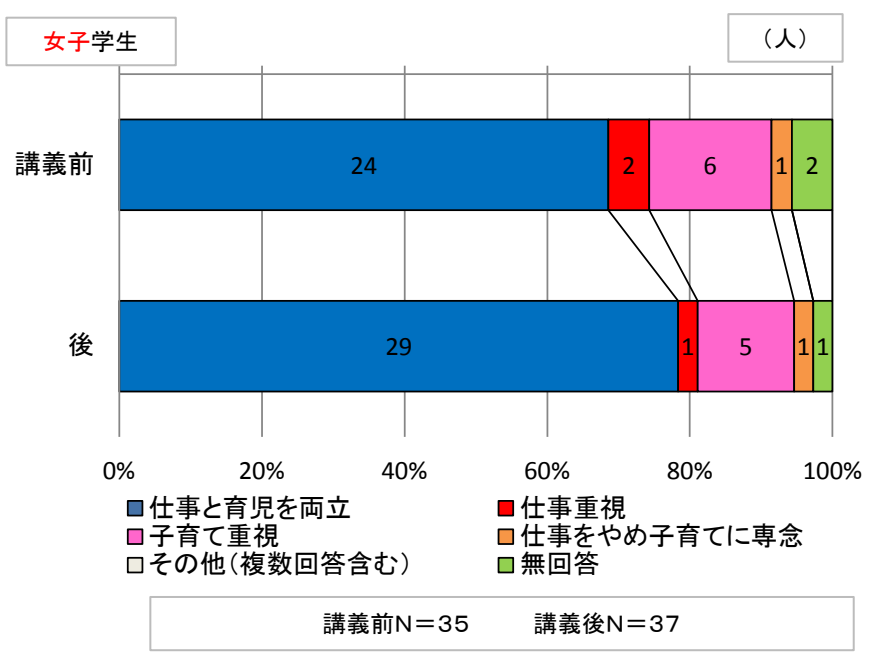
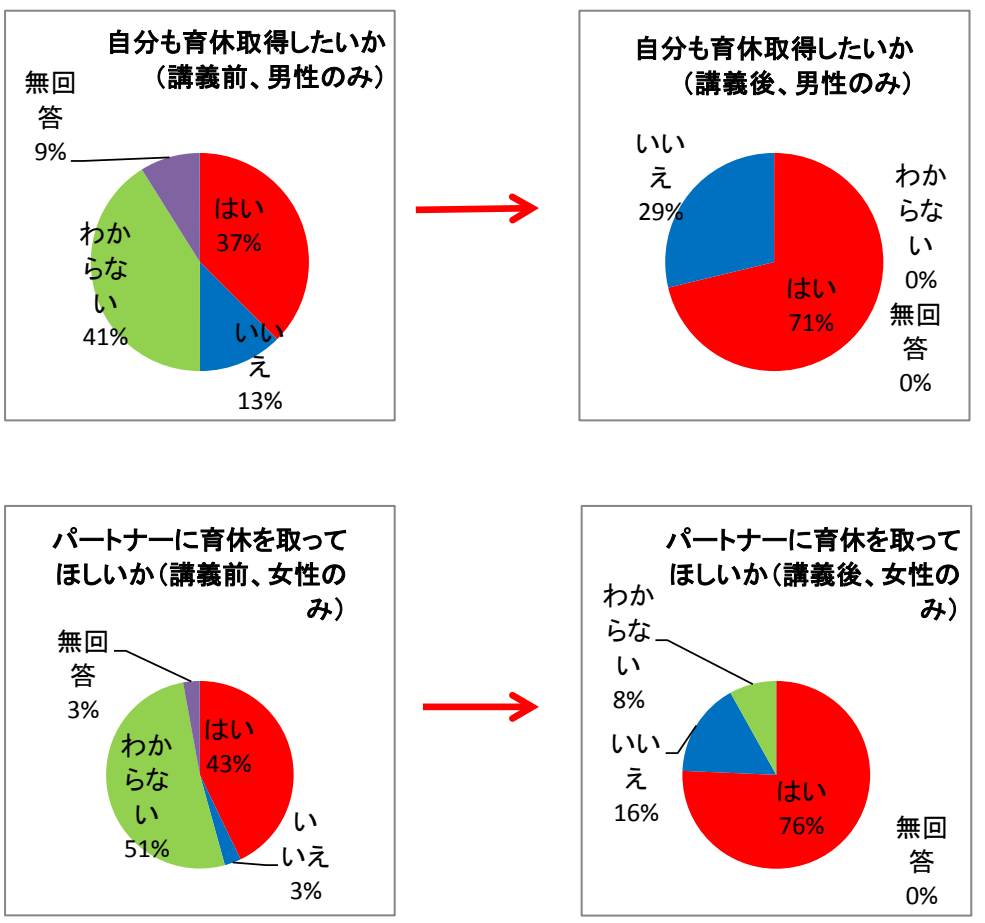


今回受講した学生は、1年生の時にセンター長によるワークライフバランスに関する講義を受講していたこともあり、言葉の認知度は「男女共同参画」が9割を超え、「ワークライフバランス」も7割弱となりました。講義による教育が言葉の浸透率上昇につながることがわかり、教育の大切さが実感できました。



講義前後で「仕事と育児を両立」と答えた学生の割合は、男性が約７％増、女性が約１０％増となり、ワークライフバランスを重視する学生が若干増えました。





男性の育休取得に関して、講義前は男女とも「わからない」と答えた学生が一番多くいましたが、講義後は「取得したい（してほしい）」と答えた学生が男女ともに7割以上を占め、男性の育休取得に対する理解が深まり、取得に前向きな意見を持つ学生が多数派となる結果となりました。